

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

埼玉県 清川町

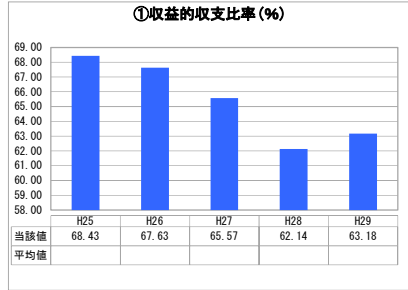
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	8.04	90.00	2,484

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,671	29.68	629.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,510	0.64	2,359.38

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



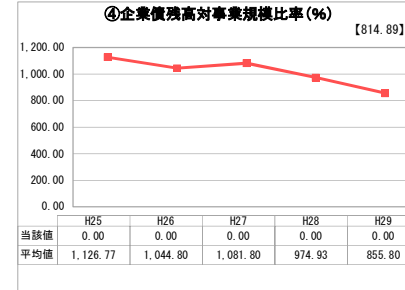
「単年度の収支」



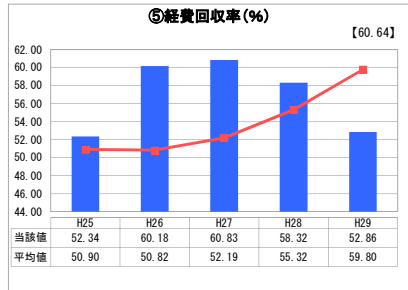
「累積欠損」



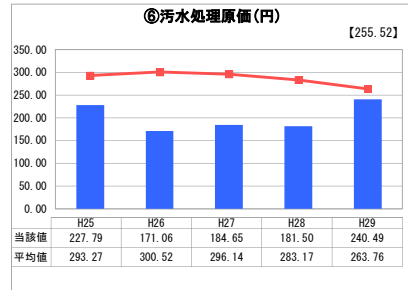
「支払能力」



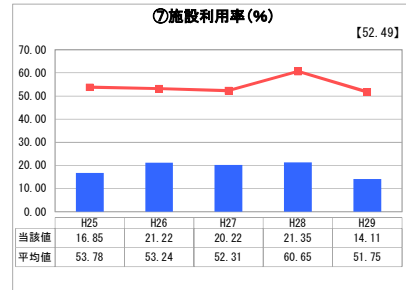
「債務残高」



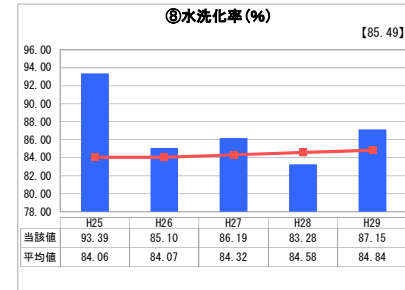
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

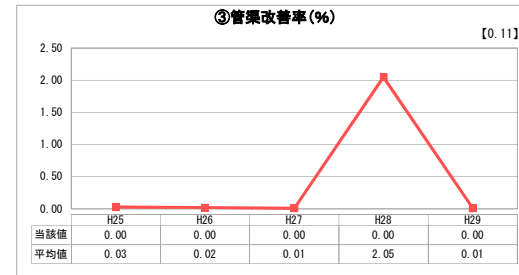
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支については、100%未満であることから、経営改善に向けた取り組みが必要である。経費回収率は類似団体を上回っているものの100%未満となっている。使用料で賄えていない部分については一般会計繰入金により保たれている状況である。

汚水処理原価については、効率的な汚水処理を実施しており、類似団体平均値を下回っているが、汚水処理費の削減について検討が必要がある。施設利用率は類似団体を下回っており、施設ごとの処理量の分析や、接続率の向上を図る必要がある。

水洗化率については、処理区域の拡大以後、やや低下し、現在は、ほぼ平均値を保っているが、公共水域の水質保全や、使用料収入の増加の観点から、100%を目指して普及啓蒙活動の必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

管渠の老朽化はあまり見られていないが、処理施設は建設後20年を越えるものもあり、経常的に維持管理業務を実施し、また、機能診断、最適化整備構想等により、改修計画を策定し、長寿命化を図ることが必要である。

## 全体総括

農村地域の環境保全に向けて農業集落排水施設の整備を実施してきたが、一部施設の老朽化に伴う修繕等も発生しており、今後は大規模改修等、工事費の増加も見込まれる。また、老朽化により維持管理費の増加も見込まれるため、最適化整備構想等により計画的な修繕、長寿命化を図るとともに、維持管理費等抑制のための創意工夫が必要となる。

今後、人口減少等による収支率の低下が見込まれ、接続率向上のための普及啓蒙を継続するとともに、適正な使用料の見直しを視野に入れた検討が必要となる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。